

就農について考えてみましょう



ここ数年、職業としての農業は人気なようでインターネットや情報誌でも就農情報をよく見かけます。

しかし、就農しても生活費をまかなえるようになるのはなかなか大変なことが多いです。このリーフレットでは、就農時に問題になる代表的な問題点をピックアップします。

1 就農とはどういうことなのだろうか？

就農希望を尋ねると「自給自足の生活をしたい」などの理由をよく耳にします。しかし、実際にプロの農家がやっている農業は「生活費を稼ぎだす農業」であり「職業としての農業」です。

つまり「就農」は「農業の世界で生涯の仕事を得る」ことだと位置づけられます。このため「目指す農業の姿がリアルであればあるほど就農の検討がしやすい」と言うことができます。

2 リアルな農業とはどんなものなのだろうか？

「農業」と一言と言っても、まず「水稻」や「園芸」、「畜産」などがあり、この下に「水稻作」「軟弱野菜作」や「果菜作」などがあり、またその下に「小松菜専作経営」や「基幹の抑制トマト＋直売野菜の複合経営」などがあり、ここまで来てやっと具体的な「農業経営」になります。

リアルな「就農」は、自分がこの「農業経営」を実行するということです。そのため、就農を検討するには希望する農業経営について、ある程度のイメージを作ることが必要だと言えます。

さて、プロの農家が行っている農業経営には必ず「成立背景」があります。それは気温や土質、販売方法など、技術や意欲だけでは回避できない地域特有の事情であることが大半です。

目指す経営の種類によっては、慎重な地域選定がないと失敗につながることもあります。

3 職業としての農業所得はどのくらいなのか？

農業所得は、その農業経営で行っている作型とその面積で逆算できます。

例えば、作型＝水稻の場合で、1,000㎡作付けの場合、経費を差し引いた農家の手取りは年間で約7万円くらいになります。

また同様に小松菜を1,000㎡栽培した場合は、1作で約12～15万円程度の手取りになるのが一般的です。

ただし、これらはベテランの目安なので、最初のうちは失敗して収入ゼロもありえます。就農計画を立てる時の収入は、あまり大きく見積もらない方が現実的です。



4 結局、どうするのがいいのか？

おそらく現実の農業は、想像していたのとだいぶ違うのではないかと思います。

それゆえ、幅広い具体的な情報の収集がとても重要です。また家族との相談、専門機関等との相談や地域情報の収集、農家訪問など、入念かつ冷静な情報収集や準備作業が欠かせません。

5 北九州市の営農類型は？

北九州市の営農類型は土地条件によって大きく「水田地帯」と「畑作地帯」に分かれます。水稲作は市内の平坦地域（干拓や河川敷）を中心に市内全域で広く取り組まれています。このうち八幡西区では種子用麦の取組などもあり、技術的特色のある栽培が目立ちます。

市の東部である小倉南区・紫川周辺地域では、水稲作に園芸作を加えた複合経営が盛んで、園芸作ではビニールハウスなどの施設を利用した軟弱野菜（シュンギク、小松菜、ほうれん草など）やトマトなど、露地では夏のナス、冬のかつお菜などの栽培が盛んです。また有名な「合馬たけのこ」も、この地区を中心に栽培されています。

市の西部である若松区では、砂質の土壌に合わせた畑作が非常に盛んになっています。

品目は、露地野菜のキャベツやブロッコリーの栽培が特に多いです。夏場の露地はスイカやスイートコーンなどが人気です。また、施設を利用したトマト（水切りトマト）も盛んで、これらを複合させた経営が多くみられます。若松区は市内最大の園芸作地域になっています。

北九州市の就農相談は市の農政事務所でお受けしています。ご利用お待ちしております。



新規就農の相談は
こちらにどうぞ



北九州市内のご相談は

門司区・小倉北区・小倉南区の案件は

北九州市 東部農政事務所

北九州市小倉南区若園5-1-2 小倉南区役所 4F

☎ (093) 951-1020 FAX (093) 922-6403

若松区・八幡東区・八幡西区・戸畑区の案件は

北九州市 西部農政事務所

北九州市八幡西区光明1-9-22 折尾出張所 2F

☎ (093) 693-9912 FAX (093) 693-0675

北九州市・中間市・遠賀郡内の方は

福岡県 八幡農林事務所 北九州普及指導センター

北九州市八幡西区則松3-7-1 福岡県八幡総合庁舎 2F

☎ (093) 601-8855 FAX (093) 601-8869